



初の宿泊研修実施！



7月の「みらいプロジェクト」の取組の一環として第1学年普通科を対象に、23日(木)より1泊2日の日程で本校初となる宿泊研修を実施しました。

21日(火)より2泊3日の日程で兵庫県の修成建設専門学校青垣研修センターで行っていた学習合宿から引き続いて行われたこの研修には普通科4クラスから64名

もの生徒が参加し、1年生の学習意欲の高さを実感しました。期間中は、普段の学校生活の中では味わうことのできない素晴らしい体験や、大学の施設等を見学する機会に恵まれ、大学進学に向けての具体的なイメージを持つとともに、さらなるモチベーションにつながる充実した宿泊研修となりました。

2日間の日程の中で参加生徒たちは、初日、大阪大学・国立民族学博物館、2日目は、京都地方裁判所・立命館大学を訪問し、それぞれの訪問先でのガイダンス・オリエンテーション等を通じて知識を深め大きな感動を味わうことができました。

また、夜の宿泊施設となったアイリスイン城陽においても、普段は接点を持つことの少ないクラスの生徒同士が交流を深め、新たな人間関係が結ばれる中で今後、共に勉強していく仲間をつくることができました。



福高は、あなたの「みらい」を応援します！

生徒感想文

1年3組 女子



大学のキャンパス内に入るのは初めてだったので、宿泊研修は貴重な体験になりました。

キャンパスの広さや大学生の課題への集中はとてすごいです。広く、設備の充実したところで大学生の皆さんは集中して課題に取り組んでいました。勉強している人が集中できるようにと、周りの人が良い雰囲気をつくっているのがよく分かりました。一人一人の気遣いが勉強しやす

い環境を生み出しているんだと思いました。

この雰囲気をつくるというのは私たちにもできることだと思います。でも、その気遣いができるようになるのは、意外と難しいかもしれません。それができるようになれば、さらに勉強に集中できる環境を生み出せると思います。普段の授業で、良い雰囲気づくりができるように努力をしていくことが大切なんだと学びました。

1年4組 男子

今回の宿泊研修に参加して本当に良かったと思う。普段学校では決して得ることのできない体験をすることができたからだ。

僕は今回見学した施設の中で特に心に残った物が2つある。

1つは「国立民族学博物館」だ。ここでは世界中の様々な民族の伝統的な生活をのぞき見ることができたと思う。その中でも僕の心に深く残っているのはオセアニア民族の展示だ。仏像の形や祭りに使われたであろう道具はオセアニア民族の多様な歴史を感じさせた。

2つ目は「京都地方検察庁」だ。最初僕にとってこの見学は特に興味深い物ではなかった。しかし、裁判官の方への質問の際、驚いたことが1つあった。それは周りの友達が次々と質問をしていったことだ。僕には質問する意欲がなかったことを少し恥ずかしくも思う。そしてその中の何人かは「検事になる」など将来の夢が決まっているというのだ。自分はまだ将来のことなど何も考えていないのに、その間に友達は夢に向かって努力していたのだ。これには少しショックを受けた。この体験を糧にして自分の道を切り拓いていきたい。



